

高エネルギーコストだけでなく、労働コストが問題です。高度な技能と教育を受けたケニアの労働者は高い賃金を要求し、政府は企業の支払い能力を考慮せず、低賃金労働者全員に年間賃金引き上げを実施しています。製造工程にお

ナビゲーター

ける非効率も、カイゼンや5Sを導入していない企業において、高い入力コストの要因となっています。

市中の商業銀行は高い金利を課しています。政府は過去1年間で政策金利を約3・5%引き下げましたが、銀行は依然として貸手の利益を重視

日本への期待 世界各地から

142

「良」から「優」に進化するための支援

して、借手への金利優遇措置を遅らせています。私たちは銀行と協議しており、この状況は改善される見込みです。中小企業が融資を受けられるようになり、担保が借手の信用力を判断する唯一の基準ではなくなる時代を期待しています。インド、ブラジル、ドイツ、ベトナムなどの国々は1桁の金利水準へと移行しています。ケニアの金利は13、18%の範囲にあります。

ケニアの製造業発展のために(下)

進展が見られます。また、中小企業への資金提供や設備投資支援などで、私たちと協力したいと申し出るドナー、投資パートナーも存在します。さらに、ケニア開発公社、ケニア中小企業庁、ケニア工業団地公社など政府の融資機関とも連携し、中小企業製造業者への資金提供を可能にする取り組みを進めています。グリーンファイナンス分野でも新たな機会が生まれ、関係者の関心を集めています。

多くの中小企業が、自社なりに最善の品質・生産性向上を進めています。また、中の取り組みを行っていることは感謝します。しかし同時に、彼らは数多くの課題に悩んでいます。予測不能な法規制の枠組み、高い原材料コスト、安価な輸入品との競争といった明らかな課題に加え、これらの課題は政府内部で対応可能であり、実際ケニア政府はこれらの緩和に向けた前向きな措置を講じています。複数の機関や日本を含む他のパートナーと連携することで資金調達の課題にも対応が可能だと考えます。安価な資金調達では、中小企業製造業の成長を促進します。私たちはまだ学習の機会を必要としています。効率的な生産におけるIoT(モノのインターネット)やロボティクスなどで、これらがより効率性を高め、スマート製造業を推進するはずだからです。

2023年に私は日本を訪れ、1カ月間参加したJICA(国際協力機構)研修は、品質と生産性の改善に関する実際の適用に目を開かせてくれました。工場見学は理論と実践の結果として新たな機械を握り付け、さらに人を雇い入れるのを見てきました。研修の主催者であるJICAと、リーム中産連チームに感謝します。

【トム・オングル、リーム中産連】

(月曜日に掲載)